

## 当社の労働・従業員パフォーマンス状況

	単位	2023年度	2022年度
正社員の平均勤続年数	年	7.7	7.3
年次有給休暇取得率	%	84.0	74.7
年次有給休暇取得平均日数	日	16.6	13.9
法定外労働年間延べ発生人数 (月45時間超)	人	171	181
法定外労働年間延べ発生人数 (月80時間超)	人	0	0
正社員の年度中離職者数	人	25	22
社内教育に対する満足度	%	59.8	60.8
ヘルスリテラシーの状況	%	53.3	
アブセンティーズム ※1 (傷病による欠勤)	日	1.3 測定人数 314名	0.9 測定人数 305名
プレゼンティーズム ※2 (出勤はしているものの、健康上の問題によって 完全な業務パフォーマンスが出せない状況)	点 <sup>(2022年)</sup> % <sup>(2023年)</sup>	25.4 測定人数 299名 回答率 95.2%	88.2 測定人数 314名 回答率 99.1%
ワークエンゲイジメント ※3 (仕事に対する活力・熱意・没頭)	%	55.2 測定人数 304名 回答率 100%	54.0 測定人数 314名 回答率 100.0%

### ※1 アブセンティーズム測定方法

傷病を理由とした欠勤日数の全従業員平均  
(傷病を理由とした有給取得日数は未把握の為除く)

### ※2 プレゼンティーズム測定方法

職業性ストレス簡易調査票より、疼痛や疲労感などの身体症状に関わる設問で、

「あった」と回答した従業員のうち、「仕事が手につかない」の設問で、「あった」と回答した従業員の割合より点数化し判定。

回答の対象：「ときどきあった」「しばしばあった」「ほとんどいつもあった」の3項目。数値が小さいほうが良い状態。(2022年度)

モラルサーベイ調査の設問で測定。

東大1項目版 (SPQ) を使用。「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。」の設問を設定。(2023年度)

プレゼンティーズム = 100% - 回答値となるため数値が0に近いほど良い状態となる。

### ※3 ワークエンゲイジメント測定方法

モラルサーベイ調査の設問で測定。

「仕事に働きがいを感じる」「自分の能力、成果が適切に評価されている」の設問に対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答した従業員の割合で判定。数値が高いほど、良い状態である。

## 当社の健康施策実施状況

	単位	2023年度	2022年度
定期健康診断受診率 *目標100%	%	100	100
健康診断後の精密検査受診率 *目標100%	%	100	85.7
特定保健指導実施率	%	100	5.6
喫煙率	%	36.4	31.3
運動習慣者比率	%	39.3	43.8
適正体重維持者率	%	73.8	76.3
血圧リスク者率 (収縮期血圧180mmHg以上または 拡張期血圧110mmHg以上の人の割合)	%	1.2	0
血糖リスク者率 (空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合)	%	1.6	1.8
糖尿病リスク率 (HbA1cが8.0%以上の人の割合)	%	2.4	1.3
ストレスチェック受検率 *目標100%	%	100	99.1
高ストレス者率	%	25.7	19.5
女性の健康課題セミナー参加率 *目標100%	%	100	100
ヘルスマ♥チャレンジ参加率 *目標100%	%	食事改善 95.6 運動習慣 84.8 5分間歯磨き 92.1 フロス使用 74.9	食事改善 90.4 運動習慣 80.2 5分間歯磨き 90.0 フロス使用 52.4
安全度数率	%	5.03	1.41